

令和8年度広島県私立高等学校等修学支援業務公募型プロポーザル選定委員会
議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和8年3月27日（金）9時30分から10時20分まで
2	場 所	オンライン会議
3	出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境県民局学事課長（委員長） ・会計管理部審査指導課長 ・環境県民局環境県民総務課長 ・環境県民局文化芸術課長 ・教育委員会事務局学びの变革推進部教育支援推進課長
4	議 題	令和8年度広島県私立高等学校等修学支援業務公募型プロポーザルに係る最優秀提案者の選定
5	担当部署	環境県民局学事課
6	開催方法	① 参集（オンライン会議） ② 持ち回り
7	議事内容	<p>1 審査方法</p> <p>提案者から提出された提案書、提案書に係るプレゼンテーション及びヒアリングの内容を基に、提案書評価基準に従い審査を行った。</p> <p>2 審査結果</p> <p>(1) 審査対象者（提案書受理順）</p> <p style="padding-left: 20px;">株式会社パソナ パソナ・広島（A者）</p> <p>(2) 審査対象者の評価値</p> <p style="padding-left: 20px;">別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。</p> <p>(3) 最優秀提案者及び選定理由</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 最優秀提案者</p> <p style="padding-left: 40px;">株式会社パソナ パソナ・広島（A者）</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 選定理由</p> <p style="padding-left: 40px;">提案書を提出したものが一であったこと、また、評価基準に基づき、選定委員会において審査を行った結果、総合評価点が合計の6割を超えており、事業者を選定することに委員からの異論がなかったため。</p> <p>3 質疑応答</p> <p>(マニュアル整備について)</p> <p style="padding-left: 20px;">委員 来年度は制度や審査方法が変わるが、マニュアル類の整備の時期はいつ頃を考えているか。</p> <p style="padding-left: 20px;">A者 受託決定後速やかに県と打ち合わせを行いマニュアル整備にとりかかり、業務開始後も適宜ブラッシュアップを図り、最終成果物として納品する予定。</p>

		<p>(契約について)</p> <p>委員 契約後に事務処理件数が現在想定している件数から大幅に減るようなことがあれば、変更契約での減額も考えられるか。</p> <p>A者 県と協議の上対応する。</p> <p>(人員配置について)</p> <p>委員 人員配置は前年度と比べてどのように配置しているか。</p> <p>A者 前年度と比べると、総人数は1名減となっている。これは、奨学給付金が紙申請から電子申請へ変わることにより、事務処理の工程が減る見込みであるため、減員した。</p> <p>委員 電子申請に関わらず、新しいシステム等を導入する初年度は事務に混乱等生じられると思われるが、そのようなことも考慮した人員配置となっているか。</p> <p>A者 仮に業務を進める中で人員の見直しが必要となれば、スケジュールに遅延が生じないように早急に人員の手配を行う。</p> <p>(その他提案について)</p> <p>委員 提案書に記載のあるRFIDタグの活用は、取り入れるのか。</p> <p>A者 RFIDタグの活用は、費用がかかるため、導入するかどうかは県と協議の上決める。</p>
--	--	---